

平成29年度公共事業評価委員会 評価対象事業一覧

整理番号	事業名 〔地区名等〕	事業の概要	全体事業費 (百万円)	これまでの 投資事業 費計 (百万円)	事業期間			進捗状況(%)			県が行った評価の結果					今後の事業の進め方及び特記すべき内容	評価対象理由	対応方針 (案)	公共事業評価委員会		
					採択年度	完成目標年度	経過年数	事業費ベース	用地費ベース	その他	総合評価	事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化	地元住民や関係機関等	費用対効果に関する要因				計画変更の必要性等	審議結果	委員会の意見
101	交付金事業 (道路)(再生復興) 国道289号 入叶津道路 只見町	【事業目的】 国道289号(入叶津道路)は、「福島県総合計画(ふくしま新生プラン)」及び「福島県復興計画(第3次)」の「復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」に位置付けられ、県土の骨格となる6本の連携軸の南部軸を担い、福島県只見町と新潟県を連絡し本県の復興を強力に支援するとともに、交通不能区間(八十里越)の解消を図るものである。 【全体計画】 延長 L=7.8km 幅員 W=6.0(9.0)m	<9,929> 14,000	8,875	S48	H35	44年	63.4%	32.4%	-	広域観光への期待と新潟県県央基幹病院開院公表があったことで早期開通に向けた機運がより高まっている。今般、冬期通行の安全確保のため、防雪施設を新たに追加する計画変更により、重点的に整備を進める必要がある。	A	A	A	A	B	計画的な投資により、事業を推進する。	1-5 計画変更の事業	見直し 継続	只見町住民の生活基盤の改善と県域を越えた広域観光圏の形成が期待できる。 冬期間の交通不能区間の解消だけでなく、安全確保を図ることは重要である。	〔対応方針〕 見直し継続 〔付帯意見〕 無し
102	交付金事業 (道路)(再生復興) 国道252号 本名バイパス 金山町	【事業目的】 国道252号(本名バイパス)は、「福島県総合計画(ふくしま新生プラン)」及び「福島県復興計画(第3次)」の「復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」に位置づけ、生活圏相互を連絡する地域連携道路として、東日本大震災からの復興を強力に支援するとともに、急カーブ箇所及び平成23年新潟福島豪雨による冠水区間をバイパス整備により解消するものである。 【全体計画】 延長 L=2.7km 幅員 W=6.0(8.0)m	[9,014] 10,980	1,246	H22	H31	7年	11.3%	54.8%		H23新潟福島豪雨によりバイパス整備の必要性がさらに高まっている。今般、地質調査による条件変更が生じたため、橋種変更などの計画変更により、重点的に整備を進める必要がある。	B	A	A	A	B	計画的な投資により、事業を推進する。	1-5 計画変更の事業	見直し 継続	豪雨による冠水区間のバイパス整備は金山町地域の防災力の向上及び復興支援の効果が期待できる。 河川整備と連携した総合的な防災対策は重要である。	〔対応方針〕 見直し継続 〔付帯意見〕 無し
103	市町村合併支援道路整備事業 国道352号 中山峠 南会津町	【事業目的】 国道352号(中山峠)は、H18.3.20に合併した旧田島町と旧館岩村を連絡する路線であるが、幅員が狭く急カーブが連続していることから、その解消により市町村合併を支援するものである。 【全体計画】 延長 L=2.2km 幅員 W=6.0(8.0)m	7,065	5,290	H19	H34	10年	74.9%	100%	-	H27関東・東北豪雨により道路整備の必要性が高まり、事業採択時と同様の効果発現が見込まれることから、現計画のとおり整備を進める必要がある。	A	A	A	A	A	計画的な投資により、事業を推進する。	1-3 事業採択から一定期間経過し継続中	事業継続	南会津町合併による旧田島町と旧館岩村間の連携強化道路であり、緊急車両の通行など救命救命アクセス向上としての効果が期待できる。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 無し

整理番号	事業名 〔地区名等〕	事業の概要	全体事業費 (百万円)	これまでの 投資事業 費計 (百万円)	事業期間			進捗状況(%)			県が行った評価の結果						今後の事業の進め 方及び特 記すべき内 容	評価対象 理由	対応方針 (案)	公共事業評価委員会	
					採択 年度	完成 目標 年度	経過 年数	事業費 ベース	用地費 ベース	その他	総合評価	事業の 進捗状 況	社会 経済 情勢 等の 変化	地元 住民 や関 係機 関等	費用 対効 果に 関する 要因	計画 変更 の必 要性 等				審議結果	委員会の意見
104	交付金事業 (河川) 伝樋川 伊達市	〔事業目的〕 昭和61年8月洪水をはじめ、 浸水被害が発生しているため、 河積の拡大を行い、沿川の人家 等への浸水被害の防止を図る。 〔全体計画〕 延長:L=3,400m 工種:掘削工、築堤工、護岸工 等	5,490	2,941	H5	[H30] [H35] H40	24年	53.6%	62.4%	-	改修済み区間においては、浸水被害の軽減が図られているが、未整備区間においては、断面が狭小なため、浸水被害の恐れがあり、地元の要望も強いことから、今後も計画的に整備を進める必要がある。	A	A	A	A	A	計画的な投資により、事業を推進する。	1-4 評価実施から5年経過で継続中	事業継続	浸水被害を防止するため、改修に必要な用地取得も進んでいることから、引き続き整備する必要がある。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 無し
105	交付金事業 (河川) 百日川 本宮市	〔事業目的〕 昭和61年8月洪水をはじめ、 度重なる洪水により浸水被害が 発生しているため、河積の拡大 を行い、沿川の人家等への浸水 被害の防止を図る。 〔全体計画〕 延長:L=640m 工種:掘削工、築堤工、護岸工 等	2,150	269	H14	[H33] [H33] H38	15年	12.5%	21.7%	-	改修済み区間においては、浸水被害の軽減が図られているが、未整備区間においては、断面が狭小なため、浸水被害の恐れがあり、地元の要望も強いことから、今後も計画的に整備を進める必要がある。	B	A	A	A	A	計画的な投資により、事業を推進する。	1-4 評価実施から5年経過で継続中	事業継続	浸水被害を防止するため、改修に必要な用地取得交渉が調ったことから、引き続き整備する必要がある。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 無し
106	交付金事業 (砂防) 滝ノ沢 矢祭町	〔事業目的〕 平成22年8月豪雨により溪流 上流部で斜面崩壊が発生し、 溪流上流部には不安定土砂が 堆積しており、土砂流出の危険 性が非常に高いことから、砂防 えん堤を整備し、土砂災害の防 止を図る。 〔全体計画〕 砂防えん堤:N=3基	550	71	H24	[H32] H35	5年	12.9%	0.0%	-	溪流上流部には不安定土砂が堆積しており、依然として土砂災害の発生する危険性が高いことから、今後も計画的に事業を進める必要がある。	B	A	A	A	A	計画的な投資により、事業を推進する。	1-2 事業採択5年経過で未着工	事業継続	斜面崩壊による土砂流出を防止する必要性が高いことから、整備を進める必要がある。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 無し

整理番号	事業名 〔地区名等〕	事業の概要	全体事業費 (百万円)	これまでの投資事業費計 (百万円)	事業期間			進捗状況(%)			県が行った評価の結果					今後の事業の進め方及び特記すべき内容	評価対象理由	対応方針 (案)	公共事業評価委員会		
					採択年度	完成目標年度	経過年数	事業費ベース	用地費ベース	その他	総合評価	事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化	地元住民や関係機関等	費用対効果に関する要因				計画変更の必要性等	審議結果	委員会の意見
107	交付金事業 (街路) 中央線外1線 (大町) 伊達市	〔事業目的〕 事業区間にクランク型交差点が存在し歩道が狭いため、自転車歩行者の安全確保が課題となっており、交通の円滑化と歩行空間の確保、電線類の地中化による景観の向上と緊急輸送道路の防災機能の強化を図る。 〔全体計画〕 延長 L=633m 幅員 W=6.0(16.0)m	[4,500] <3,890> 3,565	2,618	H14	<H29> H34	15年	73.4%	96.8%	-	暫定改良により渋滞緩和や事故減少など、交通の円滑化と安全な歩行空間の確保の効果が現れており、緊急輸送道路の無電柱化の整備による災害時の避難路の確保に加え、地元からも早期の整備が求められていることから、現計画のとおり整備を進める必要がある。	A	A	A	A	A	計画的な投資により、事業を推進する。	1-4 評価実施から5年経過で継続中	事業継続	伊達市のクランク型交差点解消により交通事故の減少や緊急車両のアクセス向上が期待できる。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 無し
108	交付金事業 (街路) 東部幹線外1線 (久保田) 郡山市	〔事業目的〕 郡山市の街路事業、土地区画整理事業と連携し、うねめ通りから国道288号に抜ける4車線道路を整備することにより、新たに設けられたJR郡山富田駅へのアクセス強化と踏切や交差点部の慢性的な渋滞の解消を図る。 〔全体計画〕 延長 L=890m 幅員 W=13.0(27.0)m	6,000	5,381	H16	<H29> H32	13年	89.7%	92.8%	-	平成29年4月に開業したJR郡山富田駅へのアクセス強化と、JR第1越後街道踏切(県道荒井郡山線)や若葉町交差点(県道郡山大越線)の渋滞解消のため、地元より早期の整備を望まれている。今般、隣接工区の目途がついたことから、完成年度を延長し整備を進める必要がある。	A	A	A	A	B	計画的な投資により、事業を推進する。	1-5 計画変更の事業	見直し継続	郡山市の交通渋滞の解消と新駅へのアクセス強化のため、隣接工区の整備と一体的に進める必要がある。	〔対応方針〕 見直し継続 〔付帯意見〕 無し
109	社会資本整備 交付金事業 阿武隈川上流 流域下水道 (二本松処理区)	〔事業目的〕 二本松市が実施する流域関連公共下水道と一体となり、県が流域下水道として終末処理場と幹線管渠を整備し、阿武隈川流域の水質保全と計画区域内の生活環境の改善を目的とする。 〔全体計画〕 計画処理面積:1,012ha 計画処理人口:22,700人 計画処理水量:9,300m ³ /日(日最大) 管渠延長:5,600m 終末処理場:あだたら清流センター	<15,600> 14,030	11,261	H4	<H27> H39	25年	80.3%	100%	-	阿武隈川流域の汚濁の防止と快適な都市環境の整備を図るため、二本松市と十分に協議を行い、流域関連公共下水道事業と一体となって、計画的に事業を進める必要がある。	A	A	A	A	A	計画的な投資により、事業を推進する。	1-4 評価実施から5年経過で継続中	事業継続	阿武隈川流域の水質と生活環境の保全を図るため、処理能力が不足しないよう社会状況に応じた整備が必要である。	〔対応方針〕 事業継続 〔付帯意見〕 無し

整理番号	事業名 〔地区名等〕	事業の概要	全体事業費 (百万円)	これまでの投資事業費計 (百万円)	事業期間			進捗状況(%)			県が行った評価の結果					今後の事業の進め方及び特記すべき内容	評価対象理由	対応方針 (案)	公共事業評価委員会		
					採択年度	完成目標年度	経過年数	事業費ベース	用地費ベース	その他	総合評価	事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化	地元住民や関係機関等	費用対効果に関する要因				計画変更の必要性等	審議結果	委員会の意見
201	経営体育成基盤整備事業 経沢 会津若松市	<p>〔事業目的〕 本事業により、区画形状を整備すると共に用水源の整備や道路・用排水路を系統的に配置し、暗渠排水・客土による耕地の汎用化を進め、農業生産基盤の強化を図り、集落営農を主体とした農業経営を確立することにより、低コスト農業を目指し地域農業の維持振興を図るものである。</p> <p>〔全体計画〕 区画整理工 [49.1ha] <49.4ha> A=47.1ha</p>	[1,059] <1,397> 1,850	1,650	H20	[H25] <H28> H31	9年	89.2%	-	100%	本地区において担い手を育成確保し地域農業を確立するためには必要不可欠な生産基盤の整備であるため、軟弱地盤対策を盛り込んだ全体計画に見直した上で事業を継続する必要がある。	A	A	A	A	B	コスト削減に取り組んで事業進捗に努め、目標年度までの完了を目指す。	1-5 計画変更の事業	見直し 継続	農地を大区画化することは、会津若松市の地域農業振興のために必要な整備であることから、引き続き早期完成に努める必要がある。	<p>〔対応方針〕 見直し継続</p> <p>〔付帯意見〕 軽量盛土工、軽量水路工は、効果を確認しながら施工すること。</p>
202	森林管理道整備事業 戸渡藤沼線 須賀川市	<p>〔事業目的〕 当林道は、森林施業の効率化による木材生産性の向上及び適正な森林施業により重要な水源林が含まれる森林の水土保持等多面的機能の高度発揮に資することを目的としている。</p> <p>〔全体計画〕 林道 L=8,670m [8,175m] 幅員 W=4.0(5.0)m</p>	[1,390] <1,425> 1,995	1,490	H14	[H26] H33	15年	74.7%	-	67.1%	林道が開設されることで利用区域内の造林、保育、伐採等の森林施業地へのアクセス時間が短縮され、伐採木の搬出など効率的な森林施業が推進されるとともに、地元より早期完成の要望もあることから継続して実施する必要がある。	A	A	A	A	B	コスト削減を図りながら事業を実施するとともに、早期の完成を目指す。	1-5 計画変更の事業	見直し 継続	林道整備は、森林施業の効率化に寄与し、須賀川市の森林の多面的機能を発揮することから、引き続き実施する必要がある。	<p>〔対応方針〕 見直し継続</p> <p>〔付帯意見〕 無し</p>